

平成26年度 中央大学学術研究奨励賞

| |
|--|
| 商学部准教授 平澤 哲 |
| <p>ハイテク・ベンチャーのフィールド調査を通じて、組織アイデンティティの可塑的な変容が企業の環境適応を促すという「適応的な可塑性」という見方を発展させた。</p> |
| <p>日本経営学会賞（論文部門） 日本経営学会 2014/9/5</p> |
| <p>本論文「ベンチャー企業の成長と組織アイデンティティの適応的な可塑性：持続性と流動性の意味のマネジメント」は、ベンチャー企業のアイデンティティの変容可能性と組織成長のダイナミズムを解明するため、2003年～2009年の間、ハイテク・ベンチャー企業でエスノグラフィーをおこなった調査結果からもたらされた一連の知見をまとめた労作である。</p> |

第28回 渋谷健一奨励賞

本賞は、渋谷健一先生（元本学理事長）の本学創立100周年を記念した奨励基金により、有為な人材の育成に資することを目的に、本学に在学する学生のうち、学術、文化、体育等の活動を通じて卓越した成果を収めた者（団体を含む）を対象に授与するものです。

学術・文化の分野

| | |
|--|-----------------------------|
| 阿久澤 未来 | 経済学部 3年 |
| 論文「日本経済に求められる成長戦略のあり方を考える」が、公益財団法人みずほ学術振興財団主催第55回懸賞論文において佳作を受賞した。 | |
| 八若 大輔 市村 佳里奈 | 経済学部 3年 |
| モバイル社会への提案レポート「チャリーンの提案—ストップ二宮金次郎—」がモバイル社会研究所主催ケータイ社会研究レポートコンテストにおいて優秀賞を受賞した。 | |
| 本多 正人 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程精密工学専攻 |
| 学術論文作成・学術発表を多数行い、それらの業績が日本冷凍空調学会主催2014年度日本冷凍空調学会賞・会長奨励賞を受賞した。 | |
| 山口 百合香 他共同者4人 | 理工学部 4年 |
| 論文「口コミデータの解析結果を考察した調味料メーカーのウェブマーケティング」が、株式会社NTTデータ数理システム主催2014年度VMStudio&TMStudio学生研究奨励賞において最優秀賞を受賞した。 | |

体育の分野

| | |
|---|--------------|
| 陸上競技部 | 学友会体育連盟 |
| 第83回 日本学生陸上競技対校選手権大会（インカレ） 4×100mリレー 優勝 | |
| 自転車競技部 | 学友会体育連盟 |
| 第70回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ） 男子4Km チームパーシュート 優勝 日本学生新記録および大会新記録樹立 | |
| 射撃部 | 学友会体育連盟 |
| 第10回 日本学生選抜ライフル射撃選手権大会 女子団体 優勝 50m3×20W 団体 優勝 10mS40W 団体 優勝 | |
| 権田 達也 | 法学部 3年（重量学部） |
| 第60回 全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会 56キログ級 優勝 | |
| 第60回 全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（インカレ） 56キログ級 優勝 | |

第22回 三重野康・高木友之助記念学術奨励賞

本賞は、三重野康元日本銀行総裁および高木友之助元総長の篤志を尊重し、有為な人材の育成に資することを目的として、学部学生のうち、経済、金融、政策等の諸科学の分野で、卓越した成果を収めた者に授与するものです。

| | |
|---|---------|
| 五十嵐 康平 | 経済学部 4年 |
| 演習論文「欧州金融監督制度の変遷～分権的監督から銀行同盟まで～」は、EUの金融監督の歴史的発展を詳細に分析している。参考文献・資料一覧に掲示されているように、この分野の邦文の文献を渉猟し、研究論文水準の卒業論文としてとりまとめた点で高く評価できる。とりわけ銀行同盟の分析と評価、将来の中央集権型金融制度の提案などにおいて独自の特徴・注目すべき提案を行っており、経済学部の演習論文の中で最優秀論文と言える。 | |
| 松田 奈々 | 商学部 4年 |
| 演習論文「IFRS適用の決定要因に関する実証分析」では、日本企業を対象にIFRS(International Financial Reporting Standards)適用の決定要因を実証的に分析している。本稿では東証1部上場企業のデータを用いた企業のIFRS適用までの期間に対する決定要因を明らかにしている。推定結果から、のれん償却や研究開発費の大きい企業、規模の経済のはたつきやすい大企業ほどIFRSを早期に適用することを明らかにしている。 | |

横山彰事例研究 | y 班

総合政策学部

共同研究論文「固定価格買取制度改正—均等割総量規制政策による負担抑制—」は東日本大震災後の日本のエネルギー政策のあり方について、的確な現状把握と現状分析を行ったうえで、再生可能エネルギー促進によるエネルギー自給率の向上が必要であると認識し、再生可能エネルギー促進策の固定価格買取制度に関して新たな政策提言を行った。この政策提言「均等割総量規制政策」は、余剰分析と産業連関分析を用いて従来の固定買取制度が家計・産業に与える負担を計量的に示したうえで、数値シミュレーションによって効率的な促進配分を明らかにし、それに基づいた均等割総量規制政策を提言している。また、この研究成果は公共選択学会「第17回学生の集い」で最優秀賞を受賞するとともに、総合政策学部「第2回リサーチ・フェスタ」でも最優秀賞を受賞している。



第20回 船木勝馬学術奨励賞

本賞は、船木勝馬氏の篤志を尊重し有為な人材の育成に資することを目的として、アジア諸国・地域からの留学生を対象とし、卒業論文、修士論文または研究論文が、優秀と認められた者に授与するものです。

沈 亮

大学院総合政策研究科博士課程
前期課程総合政策専攻

修士論文「廃家電リサイクル産業における拡大生産者責任制度について—上海市への応用についての示唆—」は、日本を中心とした先進諸国における拡大生産者責任(EPR: Extended Producer Responsibility) 制度の概念と変容を、新たな類型化を通して理論的・実証的に検討し考察したうえで、上海市へEPR制度の適用をいかに行うかについて独自の見解を提示している。とくに、「適正処理・リサイクル責任」「システム構築責任」「環境配慮設計責任」の区分ごとに、上海市で生産者にいかなる責任を負わせるかを明確にしたうえで、細分化・簡易化・ユニット化の視点から上海市におけるEPR制度の実効性を高める方向性を提示している点は極めて高く評価される。



第20回 水野富久司スポーツ奨励賞

本賞は、水野富久司氏の篤志を尊重し、スポーツ振興の支援体制の一環として陸上競技部選手の育成に資することを目的として、陸上競技部に所属する学生のうち、長距離選手として優秀な成績を収めた者に授与するものです。

新庄 翔太

法学部 4年(陸上競技部)

第83回 日本学生陸上競技対校選手権大会
5000m 3位入賞(日本人トップ)
第91回 東京箱根間往復大学駅伝競走
第2区 区間9位



第18回 瀧野秀雄学術奨励賞

本賞は、瀧野秀雄氏の篤志を尊重し、少壮気鋭の研究者の研究活動を奨励することを目的として、本学准教授、助教もしくは専任講師または大学院に在籍する学生であって、産業や技術開発の国際化にともなう知的財産権に関する研究論文が優秀と認められた者に授与するものです。

金野 将志

大学院理工学研究科博士課程
前期課程精密工学専攻

研究発表「Development of an Omnidirectional Mobile Robot with a Spiral-Type Traveling-Wave-Propagation Mechanism」が、ポーランド・ボズナンで行われた移動・登攀ロボットに関する国際会議「17th International Conference on Climbing And Walking Robots(CLAWAR2014)」にて全発表者100人弱のうち3人に選ばれ、Industrial Robot Innovation Award2014を受賞した。また、これ以外にも国内学会2件(ロボティクス・メカトロニクス講演会2014、第32回日本ロボット学会学術講演会)において、研究発表を行った。さらに、2つの英文ジャーナル「Industrial Robot」、「Advanced Robotics」に論文を投稿し、前者は採択され、後者は現在査読中である。加えて、本研究に関わる技術は特許出願にもいたっている。

木曾川 悠太

大学院理工学研究科博士課程
前期課程応用化学専攻

研究論文「配位子型光酸発生剤の開発」は、国際会議「41st International Conference on Coordination Chemistry」においてショートプレゼンテーションに選出されるとともに、研究概要が「月刊ケミカルエンジニアリング12月号」に掲載され、国内外から高い評価を受けている。金属と錯形成して感光波長を変更できる配位子型光酸発生剤の開発に成功した。一般的に、光酸発生剤の感光波長を変えることは難しく、かつ、既存の光酸発生剤の多くは紫外線のみ感光するものに限定されているが、配位子型光酸発生剤は、錯形成させる金属を変えるだけで紫外線だけでなくさまざまな波長の可視光にも感光できる。したがって、本研究成果は可視光を利用する省資源・省エネルギー型光産業を革新するだけでなく、錯体化学、光化学、高分子化学など幅広い基礎的分野の発展に寄与するものである。なお、研究成果に関しては、特許「金属錯体、その製造方法、それに用いるオキシムスルホネート系化合物、およびそれを用いた光酸発生剤」の出願を完了している。

須貝 崇史

大学院法務研究科専門職学位課程
法務専攻

論考「著作権法における『間接侵害』論再考」は、著作権法上の「間接侵害」と呼ばれる問題を再検討する内容であるが、従前の錯綜した議論を整理し、この問題に関する裁判例を踏まえつつ、新しいITサービスを展開するという視点から再検討することにより、著作権法が抱える課題を浮き彫りにし、その解決の糸口を示した。同論考は、一般社団法人日本知財学会が開催した第12回年次学術研究発表会におけるプレゼンテーションで、学生優秀発表賞を受賞した。

※学年は2014年度現在のものです。



第18回 茨木龍雄学術奨励賞

本賞は、茨木龍雄氏の篤志を尊重し、土木工学の分野における有為な人材の育成に資することを目的として、理工学部土木工学科および大学院理工学研究科土木工学専攻に在籍をする学生であって、土木工学に関する研究および人物がともに優秀と認められた者に授与するものです。

| | |
|---|------------------------------|
| 凌 国明 | 大学院理工学研究科博士課程前期課程 都市環境学専攻 |
| 「有限要素法に基づく2次元・3次元津波解析とそのハイブリッドモデルの構築」の研究に励み、国際会議(18th International Conference on Finite Elements in Flow Problems :FEF2015)において発表を予定している。また、修士学位論文発表会において、最優秀講演の評価を受けた。さらに、大学院の成績も極めて優秀であり専攻内で1番の成績も収めた。 | |
| 俊成 優太 | 理工学部 4年 |
| 地盤工学研究室では、高度な装置を使い、技術と忍耐力を要する砂の液状化に関する実験的研究に取り組み、短期間で修士課程の大学院生並みの実験成果を生み出し、土木学会関東支部や地盤工学研究発表会で発表予定である。4年間トップクラスの成績で通し、国家公務員総合職試験にも合格した実績の一方で、学科や大学を超えたサークルなどでのひろい交友関係でマラソン大会・フットサル大会などにも頻繁に参加し、文武両道の快活な若者である。 | |



第18回 久保田昭夫女子スポーツ奨励賞

本賞は、久保田昭夫氏の篤志を尊重し、スポーツ振興の支援体制の一環として女子選手の育成に資することを目的として、校友会体育連盟の部会に所属する女子学生であって、選手として優秀な成績を収めた者に授与するものです。

| | |
|--|-----------------|
| 青木 栄美花 | 文学部 4年(女子陸上競技部) |
| 第83回 日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ) 女子走高跳 優勝 | |
| 山本 怜 | 文学部 1年(女子卓球部) |
| 第81回 全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部) 女子シングルス ベスト4 全日本学生最優秀新人選手賞受賞 平成26年度 全日本卓球選手権大会 女子シングルスおよび混合ダブルス とともにベスト16 | |



第61回 学員体育会賞

本賞は、体育の業績において優秀な成績をあげた本学の学生、団体に対し授与するものです。



優秀団体賞



| | |
|--------------------------|-----------|
| 水泳部 | |
| 第90回 日本学生選手権水泳競技大会(インカレ) | 学校対抗 団体優勝 |

| | |
|------------------------------|--------------|
| バレーボール部 | |
| 平成26年度 春季関東大学男子1部バレーボールリーグ戦 | 優勝 |
| 第67回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 | 18年ぶり13回目 優勝 |
| 準硬式野球部 | |
| 東都大学準硬式野球春季リーグ戦 | 9季連続58回目 優勝 |
| 第66回 全日本大学準硬式野球選手権大会 | 11回目 優勝 |
| 自動車部 | |
| 全日本学生自動車連盟年間総合杯(団体) | 総合優勝 |
| バドミントン部 | |
| 第65回 全日本学生バドミントン選手権大会(インカレ) | 団体優勝 |



努力団体賞



| | |
|--------------------------|---------|
| ソフトテニス部 | |
| 第64回 東日本学生大学対抗ソフトテニス競技大会 | 団体優勝 |
| 射撃部 | |
| 第10回 日本学生選抜ライフル射撃選手権大会 | 女子総合 優勝 |
| 平成26年度 関東学生ライフル射撃選手権秋季大会 | 女子総合 優勝 |



特別賞



| | |
|---------------------|----------------|
| スケート部 | |
| 第27回 ユニバーシアード冬季競技大会 | アイスホッケー男子 日本代表 |
| 小野田 拓人(法4) | 越後 智哉(法4) |
| 小泉 和也(法3) | 古橋 真来(法3) |
| 中島 彰吾(総3) | 加藤 慎之助(総2) |
| 鈴木 健斗(法2) | |



リレー賞



| | |
|----------------------------|---|
| 陸上競技部 | |
| 第93回 関東学生陸上競技対校選手権大会 | 男子4×100m 優勝 川上 拓也(法1) 猶木 雅文(法3) 日吉 克実(文1) 谷口 耕太郎(商2) |
| 男子4×400m 優勝 | 皆木 佑太(総3) 横山 直広(経3) 谷口 耕太郎(商2) 藪内 翔太(商4) |
| 第83回 日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ) | 男子4×100m 優勝 諏訪 達郎(法2) 谷口 耕太郎(商2) 猶木 雅文(法3) 女部田 祐(法3) |
| 水泳部 | |
| 第90回 日本学生選手権水泳競技大会(インカレ) | 男子400m リレー 優勝 |
| 内田 仁(法4) | 砂間 敬太(法1) |
| 大本 鷹志(経2) | 矢野 貴寛(総4) |

学術研究・スポーツ功績への表彰

| | |
|---|--|
| 自転車競技部 | |
| 第70回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ） 男子4km チーム・パシュート 優勝 日本学生新記録および大会新記録 黒瀬 耕平（法4） 緑川 竣一（法4） 高土 拓也（法3） 原井 博斗（法1） | |



優秀選手賞



| | |
|--|-----------------|
| 但馬 ミツコ | 商学部 2年（ボクシング部） |
| 第84回 全日本ボクシング選手権大会 ライトヘビー級 優勝 | |
| 石川 祐希 | 法学部 1年（バレーボール部） |
| 第17回 アジア競技大会（仁川） 日本代表 2位 第67回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 最優秀選手賞 | |
| 宮本 慎矢 | 法学部 4年（スキー部） |
| 第27回 ユニバーシアード冬季競技大会 スキー／アルペン日本代表 | |
| 宮本 隼輔 | 経済学部 2年（自転車競技部） |
| 第70回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ） 男子スプリント 優勝（2連覇） | |
| 西本 拳太 | 法学部 2年（バドミントン部） |
| 第65回 全日本学生バドミントン選手権大会（インカレ） 男子シングルス 優勝（2連覇） | |



体育賞



| | |
|---|------------------|
| 森 誉 | 文学部 2年（陸上競技部） |
| 第83回 日本学生陸上競技対校選手権大会（インカレ） 男子やり投げ 優勝 | |
| 多田 康治 | 理工学部 4年（自動車部） |
| 平成26年度 全関東学生ダートトライアル選手権大会 男子の部 優勝 平成26年度 全日本学生ジムカーナ選手権大会 男子の部 優勝 全日本学生自動車連盟年間総合杯（個人） 優勝 | |
| 簾内 長仁 | 理工学部 2年（フェンシング部） |
| 第64回 全日本学生フェンシング個人選手権大会（インカレ） 男子エペ 優勝 | |
| 青木 栄美花 | 文学部 4年（女子陸上競技部） |
| 第83回 日本学生陸上競技対校選手権大会（インカレ） 女子走高跳 優勝 | |
| 梅ヶ谷 翔 | 法学部 1年（剣道部） |
| 第62回 全日本学生剣道選手権大会 優勝 | |
| 権田 達也 | 法学部 3年（重量挙部） |
| 第60回 全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会 56キロ級 優勝 第42回 東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 56キロ級 優勝 第60回 全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（インカレ） 56キロ級 優勝 | |

| | |
|--|---------------|
| 小澤 徹也 | 商学部 4年（ラクロス部） |
| 第12回 FIL 男子ラクロス世界選手権大会 ミッドフィールダー 日本代表 | |



努力賞



| | |
|---|------------------|
| 猶木 雅文 | 法学部 3年（陸上競技部） |
| 第93回 関東学生陸上競技対校選手権大会 男子200m 優勝 | |
| 江頭 広樹 | 経済学部 4年（バレーボール部） |
| 平成26年度 春季関東大学男子1部 バレーボールリーグ戦 最優秀選手賞 | |
| 萩原 大貴 | 法学部 4年（準硬式野球部） |
| 東都大学準硬式野球春季リーグ戦 最優秀選手賞 | |
| 笠井 武広 | 商学部 3年（重量挙部） |
| 第42回 東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 69キロ級 優勝 | |
| 吉村 慎太郎 | 商学部 2年（射撃部） |
| 平成26年度 関東学生ライフル射撃選手権春季大会 10mS60M 優勝 | |
| 小泉 茉優 | 商学部 4年（射撃部） |
| 第10回 日本学生選抜ライフル射撃選手権大会 50m3×20W 優勝 | |
| 近藤 拓未 | 商学部 3年（バドミントン部） |
| 平成26年度 関東学生バドミントン選手権大会 男子シングルス 優勝 | |



優秀監督賞



| | |
|-------|---------|
| 高橋 雄介 | 水泳部 |
| 松永 理生 | バレーボール部 |
| 池田 浩二 | 準硬式野球部 |
| 服部 和彦 | 自動車部 |
| 西山 博司 | バドミントン部 |



永年監督賞



| | |
|-------|--------|
| 池田 浩二 | 準硬式野球部 |
| 澤田 剛之 | 洋弓部 |



学長賞



| | | |
|--------|---------|---------|
| 但馬 ミツコ | 商学部 2年 | ボクシング部 |
| 石川 祐希 | 法学部 1年 | バレーボール部 |
| 宮本 慎矢 | 法学部 4年 | スキー部 |
| 宮本 隼輔 | 経済学部 2年 | 自転車競技部 |
| 西本 拳太 | 法学部 2年 | バドミントン部 |
| 梅ヶ谷 翔 | 法学部 1年 | 剣道部 |

※学年は2014年度現在のものです。



第32回 学員会会長賞

本賞は、本学在学生のうち学術、文化、社会等の活動を通じて優秀な成果を収めた者に授与するものです。

学術・文化・社会の分野 (団体)

| | |
|--|------------------------|
| さんさんびと | FLP(ファカルティリンケージ・プログラム) |
| FLPのゼミ活動を母体とした「さんさんびと」は、東日本大震災の被災地宮城県南三陸町の人・自然・食の魅力を知ってもらいたいと考え設立した学生主体の団体である。現地に度々赴き、現地の人との交流を主にした学生ツアーを企画、運営した。大学内にとどまらず、他大の学生までも継続的に訪れられるしくみを作ることに力をいれ、地域に貢献している。 | |
| 被災地支援学生団体ネットワークはまぎくのつぼみ | 法学部在学学生所属団体 |
| 岩手県宮古市において仮設住宅でのコミュニケーション支援や、学童クラブでの学習支援等継続的に支援活動をし、現地での厚い信頼を得ている。これらの功績が評価され、宮古市社会福祉大会会長感謝状を贈られた。この活動は本学におけるボランティア文化の醸成に深く関与している。 | |
| FLP環境プログラム 佐々木創ゼミ | FLP(ファカルティリンケージ・プログラム) |
| 卒業生の不用品を新入生に引き渡す「リユース市」を、行政(八王子市)と連携した日本初のイベントとして実施し、各種マスコミに取り上げられ、平成26年度環境省のモデル事業に採択された。これらは、地域の環境負荷の低減、当学在学生の環境意識の醸成に資するものである。 | |
| 渡辺岳夫ゼミ インディアン土屋 | 商学部 |
| 研究報告「インターンシップの実施が組織成員の内発的動機づけにおよぼす影響に関する実施研究」が、全国の経済学部・経営学部・商学部の学生を対象とした歴史ある大会「日本学生経済ゼミナール大会」プレゼンテーション部門において優勝し、最高位である優秀賞を受賞した。この研究成果はロボット「二三式 鈴鈴王」のチームが、大学院修士課程の研究水準に到達していると言えるほど卓越したものである。 | |
| 精密機械工学研究部 | 理工学研究科在学学生所属団体 |
| かわさきロボット競技大会2014において、256チーム中上位に与えられる「敢闘賞」を受賞した。また、「Honda エコマイレッジチャレンジ全国大会」に毎年参加し、現代社会でも関心の高い「エコ」という観点からの「ものづくり」に力を入れて活躍を継続している。 | |

横山彰研究会

総合政策学部

論文「固定価格買取制度改正一均等割総量規制政策による負担抑制―」が、公共選択学会第17回学生の集いにおいて、13大学37チームの中で最高の評価である、最優秀賞を受賞した。論文「マンションの多数決議要件の緩和～首都直下型地震をモデルケースに～」が、ISFJ日本政策学生会議:政策フォーラム2014において、22大学130チームの中で最高の評価である、特別優秀賞を受賞した。両論文とも学部生として極めて高い水準にあり、その研究成果は本学におけるゼミ教育の意義を世に示すものである。

FLPジャーナリズムプログラム 松野良一ゼミ

ドキュメンタリー「絵手紙に綴られた東日本大震災」が、「地方の時代映画祭」で優秀賞を受賞した。また、東京ビデオフェスティバルで優秀作品賞を受賞した。ドキュメンタリー「八王子空襲～5人の証言～」証言記録プロジェクト「台湾二二八事件と中大卒業生」(中央評論)、「沖縄問題」(書籍)などの活動が、読売、東京、産経、台湾の自由時報などのマスメディアに取り上げられ、国内外で本学の名声を高めた。

学術・文化・社会の分野 (個人)

| | |
|-------|-----------------------------|
| 平澤 翔 | 法学部 3年 |
| 重里 昂江 | 経済学部 2年 |
| 川嶋 真実 | 商学部 3年 |
| 嶋村 海人 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程数学専攻 |
| 草野 涼太 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程精密工学専攻 |
| 丹羽 宙潤 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程精密工学専攻 |
| 花輪 和人 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程精密工学専攻 |
| 伴 遼介 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程精密工学専攻 |
| 磯邊 柚香 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程精密工学専攻 |
| 尾崎 智哉 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程精密工学専攻 |
| 金野 将志 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程精密工学専攻 |

学術研究・スポーツ功績への表彰

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 呉 哲英 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程精密工学専攻 |
| 島野 諒 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程精密工学専攻 |
| 橋本 直樹 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程電気電子工学専攻 |
| 徳富 司 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程電気電子工学専攻 |
| 山崎 泉樹 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程電気電子工学専攻 |
| 池田 洋輔 | 大学院理工学研究科博士課程 後期課程応用化学専攻 |
| 浅川 博祈 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程応用化学専攻 |
| 出雲 沙織 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程応用化学専攻 |
| 小沼 郁 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程応用化学専攻 |
| 代島 雄汰 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程応用化学専攻 |
| 仲村 太智 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程応用化学専攻 |
| 永嶌 匠 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程応用化学専攻 |
| 春木 理沙 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程応用化学専攻 |
| 平島 健吾 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程応用化学専攻 |
| 弓削 秀太 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程応用化学専攻 |
| 木須 遥規 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程応用化学専攻 |
| 河本 真由子 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程応用化学専攻 |
| 小島 千絵美 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程応用化学専攻 |
| 山田 佳奈 | 大学院理工学研究科博士課程 前期課程応用化学専攻 |
| 藤田 佳祐 | 大学院理工学研究科博士課程 後期課程情報セキュリティ科学専攻 |

スポーツの分野（団体）

| |
|--|
| 水泳部 |
| 第 90 回 日本学生選手権水泳競技大会（インカレ） 学校対抗 団体優勝 |
| バレーボール部 |
| 平成 26 年度 春季関東大学男子 1 部バレーボールリーグ戦 優勝 第 67 回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 18 年ぶり 13 回目 優勝 |
| 準硬式野球部 |
| 東都大学準硬式野球春季リーグ戦 9 季連続 58 回目 優勝 第 66 回 全日本大学準硬式野球選手権大会 11 回目 優勝 |
| 自動車部 |
| 全日本学生自動車連盟年間総合杯（団体） 総合優勝 |
| バドミントン部 |
| 第 65 回 全日本学生バドミントン選手権大会（インカレ） 団体優勝 |

スポーツの分野（個人）

| | |
|---|-----------------|
| 但馬 ミツロ | 商学部 2年（ボクシング部） |
| 第 69 回 国民体育大会 成年男子ライトヘビー級 優勝 第 84 回 全日本ボクシング選手権大会 ライトヘビー級 優勝 | |
| 石川 祐希 | 法学部 1年（バレーボール部） |
| 第 17 回 アジア競技大会（仁川） 日本代表 2 位 第 67 回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 最優秀選手賞 | |
| 宮本 慎矢 | 法学部 4年（スキー部） |
| 第 27 回 ユニバーシアード冬季競技大会 スキー／アルペン日本代表 | |
| 宮本 隼輔 | 経済学部 2年（自転車競技部） |
| 第 70 回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ） 男子スプリント 優勝（2 連覇） | |
| 西本 拳太 | 法学部 2年（バドミントン部） |
| 第 65 回 全日本学生バドミントン選手権大会（インカレ） 男子シングルス 優勝（2 連覇） | |
| 梅ヶ谷 翔 | 法学部 1年（剣道部） |
| 第 62 回 全日本学生剣道選手権大会 優勝 | |

※学年は2014年度現在のものです。



スポーツの分野 (OB)



| | |
|---------------------------|--|
| 飯塚 翔太 | ミズノ株式会社(陸上競技部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | 男子4×400m 優勝 男子4×100m 2位 男子200m 4位 |
| 遠藤 一星 | 東京ガス(硬式野球部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | 3位 |
| 高橋 雄介 | 中央大学理工学部教授(水泳部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) コーチ 日本代表 | |
| 塩浦 慎理 | 株式会社ナガセイトマン東進(水泳部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | 男子50m自由形 2位 男子4×100m 2位 男子100m自由形 3位 |
| 原田 蘭丸 | 自衛隊体育学校(水泳部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | 男子4×100m 2位 男子100m自由形 4位 |
| 田中 弘 | 田中企画(ソフトテニス部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 監督 日本代表 | |
| 小野 龍猛 | 株式会社ASPE(バスケットボール部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | |
| 天野 雅之 | 中央大学職員(レスリング部OB) |
| 2014年 世界選手権(グレコローマン) | 8位 |
| 羽野 一志 | NTTコミュニケーションズ(ラグビー部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | 男子7人制 優勝 |
| 本間 孔一 | (公社)日本フェンシング協会(フェンシング部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) コーチ 日本代表 | |
| 千田 健太 | 筑波大学大学院(フェンシング部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | 男子フルール団体 優勝 |
| 坂本 圭右 | 自衛隊体育学校(フェンシング部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | 男子エペ団体 2位 |

| | |
|---------------------------|---|
| 宮山 亮 | NEXUS株式会社(フェンシング部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | |
| 須田 貴浩 | アイリスオーヤマ株式会社(ボート部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | 男子軽量級ダブルスカル 優勝 |
| 今井 裕介 | NTT東日本(ボート部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | 男子エイト 2位 |
| 田立 健太 | 戸田中央総合病院RC(ボート部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | 男子エイト 2位 |
| 飯島 誠 | ブリヂストンサイクル株式会社(自転車競技部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) コーチ 日本代表 | |
| 山下 敏和 | 自衛隊体育学校(射撃部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | 男子ライフル3姿勢団体 3位 男子ライフル3姿勢個人 5位 男子エアライフル団体 5位 |
| 磯部 結花 | 堀場製作所(射撃部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) 日本代表 | |
| 木立 彰 | 豊産管理株式会社(スキー部OB) |
| 第17回 アジア競技大会(仁川) コーチ(カヌー) | 日本代表 |
| 神崎 信彦 | (スキー部OB) |
| 第27回 ユニバーシアード冬季競技大会 | アディショナルオフィシャル 日本代表 |
| 吉田 圭伸 | 陸上自衛隊(スキー部OB) |
| 2015 FIS ノルディック世界選手権大会 | クロスカントリー 日本代表 |



第16回 法曹会賞

本賞は、中央大学法曹会が、毎年卒業する学生のうち、学業成績優秀または文化活動に顕著な功績をあげた卒業生に対して授与するものです。

該当者なし



第29回 南甲倶楽部賞

本賞は学会南甲倶楽部が、毎年卒業する学生のうち、学力優秀にて学問研究、文化活動、体育活動および社会活動などの分野において顕著な成果をあげ、本学の名声を高めるとともに本学の発展に寄与した者を対象に授与するものです。(南甲倶楽部は実業界で活躍するOBが組織する団体)

| | |
|--|-----------|
| 中島 亜理沙 | 法学部 4年 |
| 在学中の学業成績が優秀でありかつ所属ゼミでの活躍も顕著で、指導教員およびゼミ生からの信頼も厚い。 | |
| 藺田 明香 | 経済学部 4年 |
| 学業成績優秀であり、学部学生の模範となるに相応しく、南甲倶楽部賞受賞候補者として適格であると判断した。 | |
| 町田 瞭 | 商学部 4年 |
| 学業成績が優秀であり、難関とされる公認会計士試験に在学中に見事合格した。また、ゼミにおいても熱心に取り組み、人物面も良好であり、指導教員およびゼミ生等からの信頼も厚い。 | |
| 米川 翔太 | 理工学部 4年 |
| 学部4年間を通して常に優秀な成績を維持してきた。また、課外活動の弓道部の指導部長を担い責任を持って部活動の運営に協力してきた。卒業研究では「レーザー冷却原子のための焦点可変光トラップ」というテーマに意欲的に取り組み、波動光学を駆使した光トラップ光源の作製と性能評価について理論と実験の両面から理解を深めた。この研究に打ち込む熱意、自分で取得した実験データに基づく研究報告での分かり易くまとめた発表の仕方は同級生たちの模範となっている。 | |
| 宮田 葵 | 文学部 4年 |
| まじめに勉学に取り組み、優秀な成績を収めてきた学生であり、周囲の学生から慕われるリーダー的な存在で、関礼子教授のゼミナールでは、ゼミ長として活躍した。執筆した卒業論文は、学部生の優秀論文を紹介する『白門国文』(中央大学国文学会)最新号に掲載される予定となっている。卒業後は本学で学んだことを活かし、社会に貢献してくれる有意な人材になると確信している。 | |
| 水口 明日香 | 総合政策学部 4年 |
| 履修したすべての科目についてほとんど欠席遅刻をせずに熱心に勉強に励み、大変優秀な成績を残した。ゼミではリーダー的な存在となり、日本企業が性的マイノリティ(LGBT)を顧客として取り込んでいく過程を追いながら、それが一般人のLGBT理解を促し、経済的効果もあげるという利点と、企業のイメージ向上の戦略の一つのツールとしてLGBTが利用されるにすぎない可能性もあるという欠点の両方を、バランスよく描出した研究を完成させた。卒業論文も優れたものであり、執筆のための資料を得るために、また見聞を広めるために、本人は何度も海外へ行き、現地の人々と接触を重ねて | |

おり、その行動力も抜群である。卒業後は株式会社JTBに入り、これまでの数々の海外経験を活かして、日本人に最適な旅行を提供するだけでなく、来日する外国人旅行者の日本理解を深めるために多大な貢献をするなど活躍が確信できる。



第10回 東京白門ライオンズクラブ学術奨励賞

本賞は、東京白門ライオンズクラブが、有為な人材の育成に資することを目的として、博士課程前期課程・修士課程に在学する外国人留学生のうち、優秀な成績をもって課程を修了し、かつわが国と出身国を結ぶ架け橋として活躍が囑望される者に授与するものです。

関 鍵

大学院理工学研究科博士課程
前期課程情報工学専攻

中国の大学を卒業後来日し、IT系企業でシステムエンジニアとして働いていた。そして、情報科学の専門的知見を得ること、日本文化を学ぶことを二つの大きな目的とし入学した。動機づけが明確であることから、知識獲得と専門分野の研究に非常に積極的に取り組んでおり、優秀な成績を収めている。研究テーマはソフトウェア開発においてレビュー作業の負荷とリリース後の品質バランスを考慮した工程計画を立てることである。現在、日本と中国の企業を顧客とするIT会社の経営に携わっており在学中に養った専門分野の能力を実社会に活かすとともに日本と中国を結ぶよう活躍することが大いに期待される。



第1回 法務研究科東京白門ライオンズクラブ学術奨励賞

本賞は、東京白門ライオンズクラブが、将来法曹として活躍が期待される人材の育成に資することを目的として、社会実務等の経験を有して法務研究科に入学し、在学中の業績が顕著と認められた学生に授与するものです。

吉田 知世

大学院法務研究科専門職学位課程
法務専攻

会社勤めをしていた際に顧客からさまざまな相談を受け、法律問題の重要性を痛感し、一念発起して法曹を志した。クラスでも取りまとめ役を買って出るなど、仲間からの信頼も厚く、優秀な成績も収めている。将来は、社会経験を生かし市民のための法曹として活躍してくれると確信している。

※学年は2014年度現在のものです。